

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	杉 山 憲 司 (すぎやま けんじ)	所 属	東洋大学社会学部
研究集会等名称	社団法人日本心理学会 心理学教育研究会		
成 果 概 要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)          会員 39名 (うち認定心理士5名)          非会員 2名 (うち認定心理士0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等          &lt;集会の目的と内容&gt;          本研究会は、心理学教育とその発展に関心を有する会員相互の研究交流を目的として、①心理学教育に関する日常的な情報交換・研究交流、および研究会の開催、②心理学教育に関するシンポジウムまたはワークショップの開催、③心理学教育に関する出版・翻訳等の企画、④その他、本会の目的達成のために必要な事業を行うものである。本目的のため、本年度は以下の活動を行った。          &lt;本年度の成果&gt;</p> <p>(1) 研究集会(公開)を開催          本研究会では、学部教育に取り組んできたが、ここに初めて大学院教育をテーマとして研究集会を行った。本来3月12日を予定していたが、震災のため延期となった企画である。          講演会テーマ：心理学大学院生の専門性教育とは          日時：2011年7月30日(土) 13:30~16:30          場所：日本大学歯学部 4号館地下1階セミナー室          演 題：          ・北海道大学大学院文学研究科准教授 安達真由美          「米国的コースワーク教育の目指すもの―北海道大学での実践を例として」          ・東京大学大学院人文社会系研究科 唐沢かおり          「研究者・教育者コミュニティ形成の基盤としての大学院教育」          ・東洋大学社会学部助教 菅さやか          「こうして博士になりました―平凡な学部生がなぜ研究の道を選んだのか」</p> <p>(2) 出版企画          ①翻訳書「心理学教育のための傑作工夫集」(L. T. ベンジャミン編)を2010年9月10日に北大路より出版した。本書は、アメリカ心理学会が刊行し、広く読まれている activities Handbook for the Teaching of Psychology シリーズ4巻の350の参加型学習の教案の中から、とくに好まれている67の教案を取り上げて1冊にまとめたものであり、これをわが国に紹介できたことの意義は大きいと思われる。          ②「心理学教育実践ハンドブック」をナカニシヤより出版予定であり、編集作業を行った。</p>		

2011年 8月 2日

## 日本心理学会研究会 2010年度会計報告書

研究会名称 社団法人日本心理学会心理学教育研究会研究会番号 研10017助成金額 ¥100,000

## 収入

年 月 日	項 目	金 額
2010年10月27日	平成22年度助成金	¥100,000
2011年2月21日	利息	¥6
収入合計		¥100,006

## 支出

年 月 日	項 目	金 額
2010年5月11日	会議費（弁当代 7,927円＋飲物代 882円）	¥8,809
2011年7月30日	講演会講師旅費（安達真由美 札幌－東京往復）	¥59,480
2011年7月30日	講演会講師旅費（唐沢かおり 名古屋－東京往復）	¥22,480
2011年7月30日	講演会補助謝金（950円×8時間）	¥7,600
2011年7月30日	講演会飲物代（購入 3,839円中 1,637円にて足切り）	¥1,637
支出合計		¥100,006

収支合計	¥0
------	----